

しばた地域力 ブラッシュアップ講座 上映会&トークセッション

映画『どうすればよかったか?』から 市民が支え合える街『しばた』について 考える集い

～もしも藤野さんがご近所さんだったら...～

(A) 午前プログラム (上映のみ) 50名

10:00～(9:40開場) 映画「どうすればよかったか?」上映(101分)

(B) 午後プログラム (上映+トークセッション) 100名

13:00～(12:40開場)

映画「どうすればよかったか?」上映(101分)

15:00～16:00

トークセッション「どう観ればよかったか?」

パネリスト

- ・医療法人社団 有心会 精神科
荒木 雅生 先生
- ・新発田市障がい者基幹相談支援センター
本間 良 相談員
- ・自立生活センター新発田 職員(聞き手)

参加対象

- ・新発田市にお住まいの方
- ・新発田市で医療、福祉、教育分野の業務に従事されている方
- ・医療、福祉、教育分野を学んでいる学生の方

申込み方法(※参加費無料)

下記のいずれかの方法でお申込みください。

- Google フォーム (QR コード) より
必要事項をお知らせ下さい。
- 下記問い合わせ先の電話またはメールにて、
参加を希望されるプログラム (A) または (B) と
①お名前 ②連絡先 ③所属(あれば)についてお知らせ下さい。



会場

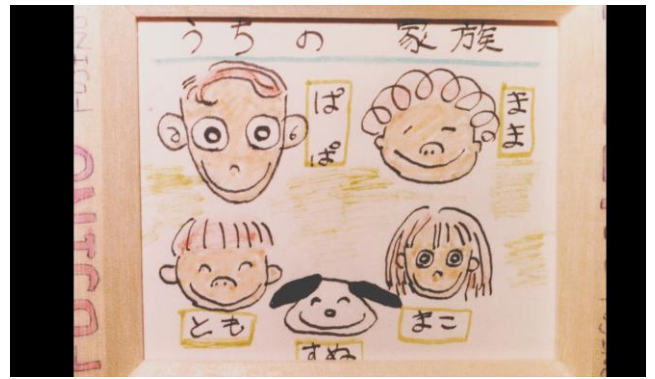
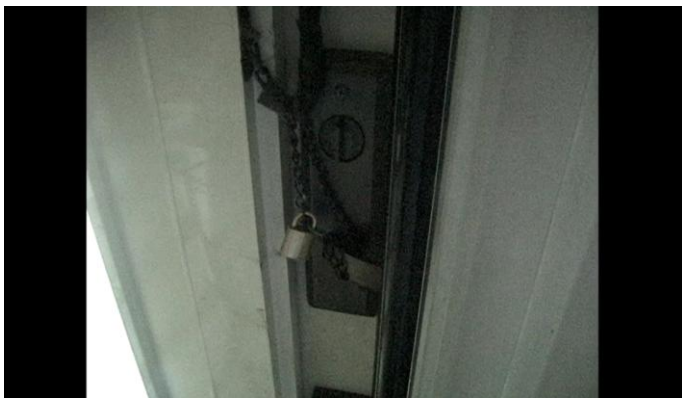
新発田市生涯学習センター
講堂

中央町 5-8-47 (0254)26-7191

映画「どうすればよかったか?」あらすじ
面倒見がよく、絵がうまくて優秀な8歳違いの姉。両親の影響から医師を志し、医学部に進学した彼女がある日突然、事実とは思えないことを叫びだした。統合失調症が疑われたが、医師で研究者でもある父と母はそれを認めず、精神科の受診から姉を遠ざけた。その判断に疑問を感じた弟の藤野知明(監督)は、両親に説得を試みるも解決には至らず、わだかまりを抱えながら実家を離れた。

このままでは何も残らない——姉が発症したと思われる日から18年後、映像制作を学んだ藤野は帰省ごとに家族の姿を記録し始める。一家そろっての外食や食卓の風景にカメラを向けながら両親の話に耳を傾け、姉に声をかけ続けるが、状況はますます悪化。両親は玄関に鎖と南京錠をかけて姉を閉じ込めるようになり・・・。

20年にわたってカメラを通して家族との対話を重ね、社会から隔たれた家の中と姉の姿を記録した本作。“どうすればよかったか?”正解のない問いはスクリーンを超え、私たちの奥底に容赦なく響きつづける。



正解はない。わかったことはある。問い続けること。